

履 歴 書				
ふりがな 氏 名	(姓) どうけい 東 経	(名) たろう 太 郎	男・女 男	国 籍 外国籍のみ国名を記入
生年月日	1970年 1月 1日 生 (42 才)		現住所	〒 185 - 8502 東京都国分寺市南町1-7-34 東経ハイツ101号室 TEL 自宅：042-000-0000／携帯：090-0000-0000 E-mail tokeitaro@tku.ac.jp
学 歴				
年 月	事 項			
1986年4月	東京都立東京高等学校 入学			
1989年3月	東京都立東京高等学校 卒業			
1989年4月	東京経済大学経済学部経済学科 入学			
1993年3月	東京経済大学経済学部経済学科 卒業(学士(経済学))			
1993年4月	東京経済大学大学院経済学研究科経済学専攻 修士課程 入学			
1995年3月	東京経済大学大学院経済学研究科経済学専攻 修士課程 修了(修士(経済学))			
1995年4月	東京経済大学大学院経済学研究科経済学専攻 博士後期課程 入学			
1998年3月	東京経済大学大学院経済学研究科経済学専攻 博士後期課程 単位取得満期退学			
職 歴				
年 月	事 項			
1998年4月	A大学 非常勤講師(「日本経済論」担当、2000年3月まで)			
2000年4月	B大学 経済学部専任講師(「日本経済論」「経済政策」担当、2003年3月まで)			
2003年4月	C大学 経済学部准教授(「日本経済論」「経済政策」担当、現在に至る)			
学会ならびに社会における活動等				
年 月	事 項			
1998年4月～現在	東都経済学会 会員			
2008年4月～	東都経済学会 評議員			
2010年3月				
賞 罰				
年 月	賞罰共なし			
2013年 4月 1日 上記の通り相違ありません 氏名 東経 太郎				

【記入上の注意事項】	
全般	日付はすべて西暦で記入。 大学院研究生歴は学歴欄、日本学術振興会歴(受入研究機関名を併記)は職歴欄に記入。
氏名	姓名の順に戸籍名どおり正確に記入(通称を使用する場合は「通称名(戸籍名)」の順で記入)。 外国籍の場合は、日本語または英語で姓名の順【姓の欄にファミリーネーム、名の欄にファーストネーム ミドルネーム】(両方の間は[])で記入し、ふりがな欄はカタカナで記入。 例)『John Fitzgerald Kennedy』の場合 Kennedy, John F. ※省略する場合は[]を使用 大学での使用名が異なる場合は「大学での使用名：J. F. Kennedy」などと明記。
国籍	外国籍の場合のみ国名を記入(日本国籍の場合は記入不要)。
生年月日	記入時の満年齢を記入。
学歴	高等学校入学以降、古い年月から順に在学期間の始期・終期の年月をもれなく記入。 学校名、学部、学科、専攻、学位等は正式名称で記入(「同校」等の省略は不可)。 日本の大学の学位は1991年6月までに取得した場合は「00修士」、それ以降は「修士(00学)」のように記入。 博士後期課程を終えて博士学位を未取得の場合は「博士後期課程単位取得満期退学」と記入。 記入時に卒業見込み、修了見込みまたは満期退学見込みの場合は、その旨を明記。
職歴	就職年月順に、在職した機関名、所属、専任・非常勤の別、職名・役職名、担当科目等を記入。 在職期間が分かるよう、退職済の場合は(0年0月まで)、現職の場合は(現在に至る)と明記。
学会・社会活動	専攻、研究分野等に関連した事項について記入。 《学会活動》《社会における活動》に区分して、古い年月から順に記入。
賞罰	特記事項がない場合は「賞罰共なし」と記入。
最終行	記入内容を確認後、記入日と氏名を入力。

教育研究業績書

主な業績について3ページ以内で作成

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行または 発表の年月	発行所、発表雑誌等 または発表学会等の名 称	概 要
1. 著書 『〇〇概論〈大倉新書〉』	単著	2012年3月	大倉出版	〇〇についての入門書として、 ×の視点から総合的に論じた。
『〇〇による経済学との 対話—△△の視点から 〈シリーズ〇〇学への招 待10〉』	共著	2010年1月	東経書房	共著者:大倉一郎(編者)他5名 担当部分:第1章「〇〇の変化と ××関係」、pp.11-20 〇〇による××関係への影響に ついて、△△の立場から論じた。
2. 学術論文 「〇〇理論に関する一考 察—批判的アプローチ」	単著	2012年4月	『△△△』第1巻第1号、 日本〇〇学会、pp1-10	過去40年間の〇〇に関する諸統 計について包括的な検討を加え、 △論の問題点を明らかにした。 *査読付き論文
3. その他 《翻訳》 『〇〇学概論』	単独	2010年4月	大倉出版	△△著。〇〇学の入門書の翻訳。
2013年 4月 1日 上記の通り相違ありません				
氏名 東経 太郎				

発行・発表年月が新しいものから順に記載

著書、学術論文ごとに200字以内で明確かつ簡潔に記入。

【記入上の注意事項】

全般	「教育研究業績書」は主要な業績について3ページ以内で作成すること。
	研究業績は、すべて学術的専門的なものとし、公刊されたものに限る。
	著書、学術論文、その他に分け、それぞれ発行・発表年月が新しいものから順に記入。
	書籍名や雑誌名は『』で、論文名は「」で括る。
著書、学術論文等の名称	欧文等、外国語の表記は、各専門分野・各言語の表記法にしたがって記述。
	著書名、論文名等を正確に記入（副題やシリーズ名を含む）。
単著共著の別	著書、学術論文の場合は、「単著」「共著」のいずれかを記入（一冊の本を数人で執筆した場合は、当該部分は「単著」であっても、「共著」とする）。
	翻訳、学会発表等の場合は、「単独」「共同」のいずれかを記入。
発行または発表の年月	発行または発表年月を西暦で記入。
発行所、発表雑誌、発表学会等の名称	学術論文は名称のほか、発表雑誌等の巻号、掲載頁まで明記。
	学位論文は、この欄にその旨を明記。
概要	概要について、著書、学術論文ごとに200字以内で明確かつ簡潔に記入。
	共著の場合は、共著者名を掲載順に全員記入し（共著者多数の場合は編者等で代表させ、「現法太郎（編者）ほか0名」と省略可）、担当部分のタイトルと頁数を明記の上、概要を記入（抽出が困難な場合はその理由を明記）。
	査読付き論文は、この欄にその旨を明記。
最終行	記入内容を確認後、記入日と氏名を入力。